

生涯学習施設整備に関する意見交換会（黒川地区区長会）

会議録要約

●開催概要

開催日	令和7年11月11日（火）
時 間	午後1時30分～午後2時30分
会 場	黒川地区公民館 他産業研修室
参加者	13名 黒川上町、黒川中町、黒川南町、黒川西町一区、下江端、東牧、塩沢、下館、坪穴、夏井、鼓岡、坂井、熱田坂
市出席者	教育長、生涯学習課長ほか事務局担当者

1 教育長あいさつ

教育長	<p>○生涯学習施設の整備について、図書館機能、公民館機能、また子育て世代や高齢者を含む多世代交流機能を整備することが基本方針です。さらに、市民からの要望を受けて、子どもたちが自由に遊べる屋内外の施設機能も備えた全市民のための生涯学習施設の整備を図っていくことを基本として考えています。</p> <p>○基本計画案は、市民の皆さんに検討していただくための提案として作成し、これまでパブリックコメントや市民説明会を通じて広く意見を募ってきました。さらに、10月1日から再度パブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見を募っています。</p> <p>○10月24日付の新潟日報で、生涯学習施設について「基本計画案を見直し」という報道がありましたが、決して根本的に見直しを行ったという事はなく、これまでのパブリックコメント、座談会、市民説明会などで寄せられた意見を、総合的に勘案して、必要な範囲で見直しを行いました。</p> <p>○先日、中条地区区長会で意見交換会を行い、5つの候補地の中で嘉平山が建設場所として望ましいのではないかという意見がありました。乙地区区長会では、市の中心に近い場所が良いのではないかという意見がありました。築地地区区長会では、自然環境に恵まれた嘉平山周辺が適当ではないかという意見がありました。もちろん、他にさまざまな考えがあると思います。</p> <p>○今後は、これまでにいただいた多様なご意見を望ましい方向に集約するために、有識者や図書館等施設利用者、子育て世代、公募によ</p>
-----	---

	<p>る市民委員などからなる審議会を設置し、諮問・答申のプロセスを経て、最終的な方針を決定していきます。</p> <p>○施設の建設場所や内容について、皆様のご意見が市民全体の最大公約数的な希望を実現するために率直なご意見をいただきたいと考えています。</p>
--	--

2 事務局説明

事務局	<p>(1) 胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)について</p> <p>○施設の基本的な考え方・コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、胎内市生涯学習施設整備基本構想を踏まえ、「つなぎ・はぐくむ」情報・文化・交流拠点を基本理念とします。 ・公民館や図書館機能に加えて、子ども、子育て世代を中心に、多世代が集う交流の場を創出する多世代交流拠点を目指しています。 ・施設イメージとしては、公民館・図書館の機能を備えつつ、多世代が交流できる場とし、子どもから高齢者まで全市民を対象とします。 <p>○施設の内部・外部空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内は、来館者が快適に過ごせるゆったりとした空間とします。 ・屋外には、子どもたちが自由に遊べる遊具施設を設けた広場や、多様な人々が交流できるスペースの整備を検討しています。 <p>○規模と事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模は、延べ床面積は概ね 4000 m²を想定しており、設計段階で規模をコンパクトにする方向で検討しています。 ・総事業費は約 45 億円で建設コストの最大値として想定しています。 <p>○建設候補地の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地に求められる条件として、ゆとりある空間の創出、周辺環境との調和、利用者の動線やアクセスのしやすさ、ゆとりある駐車スペースの確保を挙げています。 ・候補地としては、ふれすぽ胎内周辺、中央公民館周辺、中条駅周辺、関沢地内(嘉平山)、旧柴橋小学校の5つの地域が挙げられ、それぞれにメリットとデメリットがあります。 ・ふれすぽ胎内周辺 大型駐車場を併用可能、体育施設との連携や併用が可能、市有地のため用地購入費が不要ですが、駅や中心市街地から離れており、十分な敷地面積の確保が難しい。 ・中央公民館周辺
-----	--

	<p>駅や中心市街地に近く、現行の中条地区の利用者にとって利便性が高く、市有地のため用地購入費が不要ですが、周辺道路が狭く、混雑や安全面の懸念、将来的には中学校統合の建設用地となる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中条駅周辺 駅や中心市街地に近く、駅利用者には利便性が高いが、周辺道路が狭く、新施設の出入りや電車発着時に混雑が予想されます。適した用地の確保が現実的に難しい。 ・ 関沢地内（通称嘉平山） 駅や中心市街地に比較的近く、広い敷地と静かな環境が整っており、市有地のため用地購入費が不要ですが、進入道路や上下水道等のインフラ整備が必要、幹線道路や市街地からは見えにくい。 ・ 旧柴橋小学校 静かな環境にあり、市有地のため用地購入費が不要ですが、周辺道路が狭く、混雑や安全面に課題があります。 ・ 当初の基本計画案では、敷地の広さに余裕があり、幹線道路からのアクセスが良好で、まとまった駐車スペースの確保が可能であることに加え、豊かな自然に囲まれた静かな環境が提供できるため、関沢地内（通称嘉平山）を有力候補地として位置付けていました。 <p>○市民の意見と今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントや市民説明会でいただいた様々なご意見を踏まえ、現時点の基本計画（案）には、有力候補地の記載の代わりに比較表を掲載しました。 ・ 今後、専門家や市民からなる審議会を設置し、意見を集約しながら最終的な判断を行う予定です。 <p>○現在の公民館・図書館の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習施設が中心市街地以外に建設される場合、中条地区においても、乙・築地・黒川地区と同様に引き続き維持していく方針です。 <p>（２）生涯学習施設のこれまでの経緯について</p> <p>○これまでの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年８月に胎内市生涯学習施設整備検討委員会を設置し、副市長や教育長をはじめとする１４名で協議を行いました。また、市民参加型ワークショップも開催し、延べ８０名の方々から貴重な意見をいただきました。 ・ これらの意見を基に基本構想案を作成し、令和５年３月にまとめま
--	--

	<p>したが、新型コロナウイルスの影響や新たな整備手法の検討に時間を要し、最終的な基本計画案が整ったのは本年3月となりました。</p> <p>○候補地に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、関沢地内の嘉平山を有力候補地として示しましたが、候補地の選定プロセスが不透明だと感じた市民から再考を求める声などがあり、4月から6月に実施したパブリックコメントでも「市街地から遠い」「徒歩での利用が難しい」といった意見が多く寄せられました。 ・5月に実施した座談会では、子育て世代からは広い駐車場や屋外スペース、小学生と幼児が遊べる屋内施設を求める声がありました。 <p>○統合中学校との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補地の選定にあたっては、統合中学校の建設場所とも関連するため、検討内容との整合性を図りつつ方向性を定めていく必要があります。 <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から実施したパブリックコメントを踏まえ、現在、第2回のパブリックコメントを実施しています。 ・多様な意見を望ましい方向にまとめるために有識者や市民で構成される審議会を設置します。その後、諮問・答申を経て、最終決定を行っていく予定です。
--	--

3 質疑

参加者	<p>○5か所の候補地が挙がっていますが、黒川の方も考慮すべきです。現在、黒川保育園が廃止され、その周辺には十分な広さがあり、市有地だと思います。隣にはきすげ保育園もあり、子育て世代にも適していると思います。</p>
事務局	<p>○現在示している5か所の候補地については、これまで検討委員会などで出されたもので、駅周辺は除きますが、市が所有するまとまった面積を確保できる場所として掲げたものです。ただし、今後は先ほど申し上げた審議会で、その他のご意見も伺いながら進めていく予定ですので、現在の計画案が5か所に限定されているわけではないことをご理解いただきたいと思います。</p>
参加者	<p>○黒川地区の体育館跡地利用について、以前区長会議で地元の意見を聞いて進めるとの回答をもらいましたが、その後の進展は聞いていません。この場所を利用することをぜひ考慮していただきたいと思います。</p>

	<p>○一極集中による過疎化を防ぐためにも、黒川地区の市有地を活用することも十分検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>○跡地の利用については、検討中です。決して何も考えていないわけではなく、少しお待ちいただきたいと思います。</p> <p>○生涯学習施設の建設候補地については、市内全域で利用しやすい場所を検討しており、審議会での諮問を経て答申をいただきたいと思いますと考えています。いただいたご意見は、しっかりとお伝えいたします。</p>
参加者	<p>○黒川地区の過疎化や高齢化に対応するため、黒川に施設をお願いしたいという意見は私も同じです。</p> <p>○基本計画案では、床面積 4000 m²、45 億円という金額が示されていますが、5 つの候補地の中では、嘉平山か旧柴橋小学校が有力だと思います。</p> <p>○最大公約数として検討した結果、設備自体が縮小になる可能性もあると思います。その場合、設備は 3 つきちんと確保するという考え方なのか確認したいです。</p>
教育長	<p>○4000 m²の面積は大まかな目標で、設計の自由度を高めるために、具体的な建物のイメージを持ちすぎないように進めています。</p> <p>○図書館機能や公民館的な機能を含め、多世代が集まる場所を作ることが重要で、例えば、読み聞かせやサークル活動の発表などをはじめとした交流の場として利用できるようになればよいのではないかと考えています。また、屋内外で子どもたちが遊べる場所なども想定すると、最終的に 4000 m²の広さが理想的ではないかと考えています。</p> <p>○場合によっては、段階的に完成させていく方法もあると考えています。</p> <p>○駐車場のスペースも重要で、広々とした緑に囲まれた場所を想定しています。</p>
参加者	<p>○嘉平山には熊が出ることがあります。今年 of 市広報でも、関沢地内に 2～3 頭の熊が出たと報告されていると思います。そのような危険がある場所に施設を作ることについて、どう考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>○熊の目撃情報は、市街地にも広がっており、市全体の問題だと認識しています。今後、施設の設置場所として危険性が指摘される可能性もありますが、その意見は他からもいただいておりますので、審議会にもしっかりと伝えていきたいと考えています。</p>
参加者	<p>○この施設は図書館、交流施設、公民館の 3 つの機能を含んだ非常に</p>

	大きな施設だと思いますが、近隣で似たような施設がありますか。
事務局	○複合施設としては、五泉市のラポルテ五泉や、三条市の新しい図書館のように、図書館だけでなく、他のにぎわいスペースを設けて相乗効果を生む施設があります。胎内市でも、コンセプトを基に、そこから何かが育まれるような施設を作りたいと考えています。
教育長	○静かな環境で本を読んだり学習できるスペースと、交流を促進する場を分けて設けることは考慮すべきだと考えています。 ○胎内市としては、若い世代から高齢者までが集まる交流の場で大きなにぎわいのある魅力的な場所にすることが重要だと考えています。
参加者	○黒川地区でも耐震性の問題があり、現在ある施設を放置したまま大きな施設に予算を集中することがいいのか疑問です。この点について、どのように考えていますか。
教育長	○新しい施設は全市民を対象にした集いの場として考えていますが、もしそこが市街地以外に整備されれば通えなくなる地域も出てきます。例えば、中条地区では既存施設を活用し、図書室や公民館として使える施設を何らかの形で維持していくことが必要だと考えています。ただし、機能を残すだけではなく、インターネットの活用や各地区で本が借りられる仕組みなど、各地区のニーズに合わせた方法を検討していくことも大切だと思っています。
参加者	○現在、黒川地区公民館の講堂の吊り天井が耐震基準を満たしていないため使用されていませんが、管理している生涯学習課からは一度も説明がありません。この点について、どのようになっているのでしょうか。
事務局	○講堂に関しては、6～7年前から利用を控えていただいております。吊り天井だけでなく、照明や空調にも不具合が生じています。全体的な修繕にはかなりの費用がかかるため、現時点では方針が決まっていますが、速やかに方針を示せるよう努力しています。
参加者	○6年間も休止して説明がないので、そういう状態なのであればそのように説明すべきだったと思います。
事務局	○大変申し訳ありませんでした。説明の時期を逸してしまい、不信を招いたことをお詫び申し上げます。今後の方針を決め次第、早急にお伝えできるよう準備を進めます。
参加者	○中条中学校の跡地利用は統合中学校として最優先で進めてほしいと思っています。 ○樽が橋の道の駅を利用したらどうかと思います。道の駅は人が集

	<p>まりやすいものですが、樽が橋はよその駅と比較すると中途半端な施設に感じますので、施設の見直しと有効活用を検討するべきだと思います。</p> <p>○乙交流施設も日中はほとんど人がいないため、乙宝寺参拝者などその施設を利用するなど方法を見直してみてもいいでしょうか。</p>
事務局	<p>○樽が橋や乙交流施設の観光活用について、ご意見として承り、関連部署に伝えたいと思います。</p>
参加者	<p>○生涯学習施設の候補地に関してですが、基本計画案にある「利用者の動線、施設へのアクセスのしやすさとゆとりあるスペース」を考慮すると、黒川地区からすれば嘉平山が適していると思います。</p>
参加者	<p>○かつての検討委員会のメンバーについて、地区の代表が選ばれていたようですが、各地区の考え方はどのように反映されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>○これまでの検討では、当時関係する方に限った話でありましたので、今回、区長さんにお伺いする機会を設けさせていただきました。今日いただいたご意見は、今後の議論に反映させていただきますので、審議会を立ち上げる際にしっかりと伝えていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>○審議会には区長さんや地域の代表の方が入っていない状況ですが、地域バランスを考えてメンバーを選んでいました。特に今回整備する生涯学習施設については、子育て世代や若い方々をはじめとして意見を伺ってきた傾向があります。</p> <p>○胎内市民全体を対象としているため、地域に偏りすぎないように留意しながら、区長さんからいただいた意見も審議会に伝え、公平に検討してもらおうつもりです。</p>
参加者	<p>○45 億円の費用がかかることについて、胎内市の財政にどのような影響があるのか心配です。中心街に新しい施設ができて、既存の公民館や図書館の老朽化対策や維持管理費用もかかります。黒川の施設も修繕ができていない中、45 億円をかけるのは大丈夫なのか、財源がどこから出るのか不安です。中学校の統合も控えているのでお金があるのかと心配です。</p>
事務局	<p>○45 億円の事業費は、必要な施設の機能と面積を基に算出しました。今後、設計段階で規模をコンパクトにすることで総事業費を抑えたいと考えています。</p> <p>○財源については、国の補助金などを最大限活用し、進めていきます。</p> <p>○既存の公民館についても、修繕を行いながら機能を維持し、古くな</p>

	った部分については更新も含めて検討しているところですのでご理解いただきたいと思います。
参加者	○財政面は重要なので、市民には正直に説明し、後で「できません」という事態にならないようにお願いします。
教育長	○設置場所やその他の方針などが決まった段階で、財政面を含めた質問等にもお答えする必要があると考えています。